

はままつ 市議会だより

第190号

令和4年2月5日

身近な市議会を目指して



もくじ *contents*

◎11月定例会のあらまし	P2
◎可決した主な議案	P3
◎常任委員会の状況	P4
◎代表質問	P5
◎一般質問	P6
◎行政区再編の協議の経過	P10

「廻廊の壁画」 日本画

1986年 秋野不矩 作

～秋野不矩美術館 所蔵品展より～

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



11月
定例会

一般会計188億9000万円の補正予算を可決

臨時特別給付金や3回目ワクチンなどコロナ関連に重点

11月定例会は、11月15日から12月14日までの30日間にわたって開催しました。

◎議案上程

11月15日の本会議では、3年度一般会計補正予算など、35件の市長提出議案を上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。続いて請願3件を上程し、紹介議員の趣旨説明の後、所管の各委員会に審査の付託をしました。

◎代表・一般質問に13議員

11月30日の本会議では、4会派の代表議員が代表質問を行うとともに、早期議決が必要な職員などの給与改定に関する議案4件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

12月1日及び2日の本会議では9人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたえました。また、2日の本会議では3年度一般会計補正予算など3件の議案を追加上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。

◎市長提出議案及び意見書を可決

12月14日の本会議では、各委員長から審査の経過と結果が報告された後、2議員から反対討論があり、採決した結果、市長提出議案34件は原案のとおり可決し、適格請求書等保存方式「インボイス制度」の実施中止を求める意見書提出を求める請願ほか2件はいずれも不採択となりました。続いて非課税世帯などへの臨時特別給付金支給に関する議案を追加上程し、委員会付託を省略して採決した結果、原案のとおり可決しました。また、教育長の選任など、人事案件3件に同意したほか、議会提出議案として意見書3件を可決しました。



選任された教育長の挨拶

可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆管理不全土地等の民法特例規定の創設及び小規模農地取得要件緩和を求める意見書
- ◆地域農業の担い手育成支援に対する意見書
- ◆国における意見書に対する取扱いの改善と積極的な活用を求める意見書

12月	11月
30日 本会議(代表質問)	15日 本会議(11月定例会開会・議案上程)
29日 議会運営委員会	
25日 行財政改革・大都市制度調査特別委員会	
3日 各常任委員会	
2日 本会議(一般質問)	
1日 本会議(一般質問)	
7日 行財政改革・大都市制度調査特別委員会	
13日 議会運営委員会	
14日 本会議(採決・11月定例会閉会)	
24日 大型公共施設建設調査特別委員会	
12日 厚生保健委員会	
	環境経済委員会
	建設消防委員会
	市民文教委員会

議会活動の経過

可決した主な議案

3年度一般会計補正予算 総額188億9000万円 (うち国県支出金 183億1214万円)

- ◆コロナ禍の長期化で影響を受ける住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金の支給 102億3500万円
- ◆認定ベンチャーキャピタルの投資と協調した市内スタートアップに対する交付金の追加 2億1000万円
- ◆コロナ禍の長期化で影響を受ける子育て世帯への臨時特別給付金の支給 62億200万円
- ◆行政のデジタル化推進に向けた端末の増設などのインフラ整備 1663万円
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業における3回目接種の体制整備 9億1007万円
- ◆自宅や区役所窓口からの保育に関するオンライン相談に対応するコールセンターの新設 499万円
- ◆医療機関が実施する新型コロナウイルス感染症保険適用検査などの公費負担 2億1244万円
- ◆不登校児童・生徒の支援のため、新たに中学校4校に校内適応指導教室を設置 149万円 など

市民栄誉賞の創設

●市民栄誉賞条例の制定

オリンピック・パラリンピック競技大会などで活躍し、市民に希望を与えるような功績があった人をたたえるため、顕彰制度を創設します。



市民栄誉賞の贈呈式

21施設の指定管理者を指定

●指定管理者の指定

秋野不矩美術館や防災学習センターなど、21施設の指定管理者を指定します。

過疎地域への産業振興

●市税条例の一部改正

過疎地域持続発展計画に記載された産業振興促進区域において、新たに取得した設備などに対する固定資産税3年度分を課さないこととするものです。

消防団・水防団員の処遇改善

●水防団条例及び消防団に関する条例の一部改正

消防団員及び水防団員の処遇改善に向けて、災害出動や訓練に勤務した時の支給額を改正します。



水防団の訓練



新型コロナウイルスの感染拡大防止に御協力をお願いします

- ・手洗い・うがいを励行しましょう
- ・密閉・密集・密接の3つの密を避けましょう
- ・感染リスクの高い地域への移動を避けましょう

すべての人に優しさと思いやりの心を
～感染者等への誹謗中傷は「重大な人権侵害」です～

常任委員会の状況

12月3日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会

●広報はままつ発行事業費について
【質疑】 広報はままつとは別に、区再編に関する冊子を発行していく考えはないか。

【答弁】 広報はままつの分かりやすい箇所に掲載するか、別冊を発行するかは、関係部局と調整する。なお、再編の影響がある市民サービス関連事項は、市民にしっかりと広報していく。

●市民栄誉賞条例の制定について
【質疑】 受賞者を選定する際の基準や選考過程は。
【答弁】 具体的には要綱で定めていくことになるが、世界的に活躍し、市民に希望を与えた人材について、市職員による審査会を設けて審査し、授与を決定していく。その際、必要に応じて各分野の専門家から意見を聞き、公平性を担保する考えである。

厚生保健委員会

●安心して医療が受けられ、健康が守られるように国民健康保険料の改善を求める請願

【多数意見】 国民健康保険制度は受益者負担で成り立っている以上、保険料の引下げについては慎重に行うべきである。また、子供の均等割廃止・減額については国レベルで行わなければならない。市は要望活動の努力をしている。さらに、平成30年度に制度が見直され、県が財政運営の責任主体として、都道府県単位化の深化を推進している。

【少数意見】 被保険者に寄り添い保険料を下げる努力が足りない。また、本市は子育て支援を市の一番大きな柱として組み立てていることから、18歳以下の子供の均等割の減額について、積極的に取り組んでいくべきである。
【委員会の結論】 賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

環境経済委員会

●高齢者雇用促進・就労支援事業について

【質疑】 支援事業の内容は。

【答弁】 ジョブ・サポート・センター内にハローワーク浜松が新たに設置する高齢者専用窓口（仮称）シニア・ハローワークはままつと連携し、情報共有を図るとともに、求人開拓、高齢者雇用アドバイザーの派遣などの企業への働きかけのほか、就労に向けた寄り添い支援などにより高齢者への働きかけを行うものである。



ジョブ・サポート・センター（市役所本館2階）

建設消防委員会

●手数料条例の一部改正について

【質疑】 長期優良住宅の認定に係る申請件数と、そのうち区分所有の共同住宅の件数は。

【答弁】 年間約1400件の申請があり、これまでに約1万4000戸を認定した。そのうち区分所有の共同住宅は1件で、24戸の認定であった。

●水防団条例及び消防団に関する条例の一部改正について
【質疑】 消防団の消防団員の報酬などに係る通知には、年額報酬と出勤報酬のほかに、地域の実情に応じて報酬を定めることを妨げないとのあるが、本市の実情に応じた検討は行っただか。

【答弁】 地域の実情としての見直しは行っていないが、通知で示された1日8000円の出動報酬の基準に基づいて、新たに長時間・長期間の災害対応を考慮した報酬を定めた。

市民文教委員会

●子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

【意見】 全小・中学校に発達支援学級を、また中学校区ごとに通級指導教室を設置することについては、教職員の定員との調整を取りながら毎年10校程度新設しており、今後二一ズに応じて全校に配置されることが想定される。また、就学援助制度の認定基準の緩和などについては、就学援助対象児童・生徒が増加していることから、財政面の持続可能性を考慮すべきである。さらに、放課後児童会の支援員・補助員の増員などについては、放課後児童会は委託方式への切替えが行われており、支援員・補助員の報酬の増額など待遇の改善が進むことにより、人材不足の解消につながっていくものと考えられる。

【委員会の結論】 賛成なしで不採択とすべきものと決定した。

代表質問

11月30日には、会派を代表して、4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
加茂 俊武

特定空家を解消するための体制整備を

質問 特定空家を解消するため、指導・勧告・命令・行政代執行が必要と考えるがマニユアル作成の考えはないか。

答弁 本市では、国のガイドラインに基づき、空家等対応マニュアルを整備しており、これまでに取壊しを含む5件の略式代執行を実施した。行政代執行は所有者が適切な管理をしていない空き家に対して、行政権限により必要な措置を強制的に実施することから、慎重に手続を進める必要がある。また、費用は所有者が負担すべきものだが、

回収が困難な場合が多く、課題となっている。これらを踏まえ、放置することで予見される悪影響の度合いなどを総合的に判断し、公益性が十分に認められる場合に行政代執行を実施し、空家の解消に努めていく。

その他の質問

- ① 公共施設周辺の土地を取得する考えは
- ② 4年度予算編成における重要方針は
- ③ 通学路安全対策の要望への対応状況は



狭隘な通学路



創造浜松
遠山 将吾

子ども食堂を支援する助成制度の創設を

質問 コロナ禍以降、支援を必要とする家庭が増える中、子ども食堂の現状と課題はどうか。また、本市が果たすべき役割と助成制度創設への考えはどうか。

答弁 現在、市が把握する子ども食堂は15か所、食事の提供だけでなく地域の子育て世帯の交流や悩み相談など、地域コミュニティの役割も担っている。しかし、運営主体の多くがNPO法人などのため、運営経費の確保に苦慮しており、安定した運営の継続が課題となっている。

本市では子ども支援コーディネーターを中心に、運営ノウハウの提供や食材寄贈、民間の助成金等の情報提供などの支援を行っており、今後は、子ども食堂を含めた居場所づくりに対する助成制度の検討を進めていく。

その他の質問

- ① コロナで縮小した地域活動の活性化を
- ② デジタルガバメント推進で利便性向上を
- ③ 天竜区全体で山里いきいき応援隊活動を



地域コミュニティの役割も担う子ども食堂



市民クラブ
北野谷 富子

発達支援コーディネーターの専門性向上を

質問 発達支援コーディネーターとなる教職員は、通常学級に在籍する発達障がいの可能性のある児童・生徒を支援する役割があるが、専門性向上についての考えはどうか。

答弁 学校の困難事例に対し、医師や社会福祉士などによる専門家チームが要請によりケース会議を行い、児童生徒の実態や特性の把握、望ましい教育的対応についてアドバイスをを行っている。これはコーディネーターの力量向上につながる貴重な機会となっていること

から、今後、ケース会議を行う際に、近隣のコーディネーターの参加も促していく。また、教育センターと連携し、教員のキャリアに応じたスキルアップができる研修を企画し、専門性の向上を図っていく。

その他の質問

- ① 出生率向上のため子供の医療費無償化を
- ② 保育所等巡回支援事業の専門員拡充を
- ③ 環境を整備しアーバンスポーツの推進を



人気が高まるスケートボード

※アーバンスポーツ…BMX、スケートボード、スポーツクライミングなどの都市型スポーツ



日本共産党浜松市議員
酒井 豊実

区再編に当たり住民合意に基づく意思決定を

質問 行政区再編について、各区の自治会連合会などから提出された要望書や中間報告での意見に対し応えていないと考えるが、住民の理解は進んでいるのか。また、旧引佐郡3町及び浜北区の住民の強い意思に対しどう対応する考えか。

答弁 3年9月から10月にかけて、各区の協議会と区自治会連合会との中間報告を議会と当局が二人三脚で行い、300を超える質問や意見を受けた。また、旧引佐郡3町を含む各自治会連合会などからの要

望書についても、それぞれの地域の様々な思いは議会と当局でしっかりと受け止めている。これらを十分に踏まえた上で、将来の本市にとってどのような体制が最適かを議会と協議し、決定していくものと認識している。

その他の質問

- ① ヤングケアラーの現状と支援の取組は
- ② 土の力で生ごみが削減する容器の普及を
- ③ 架線集材の推進で持続可能な林業を



自走式搬器による架線集材

一般質問

12月1日、2日には、9人の議員が質問を行いました



幸田 恵里子
公明党

SNS活用で若者が相談しやすい環境整備を

質問 若者の社会的孤立を防ぐための支援事業として、近年SNSを活用した相談対応をしているが、現状と課題、今後の取組への考えはどうか。

答弁 2年度のSNS相談件数は延べ904件で、若者本人からの相談が約8割を占めている。電話などに比べ手軽なSNS相談は若者のニーズに合致し、事業効果を高めている。一方、表面的な相談にとどまり深刻な悩みまで到達しない場合や、また誰にも相談できず孤立することもあり、若者を

いかに取り込み支援につなぐかが課題である。今後は、より効果的な相談の実施時期や期間の見直しを行い、SNS相談の利用促進に努め、悩みを抱える若者を早期支援につなげるような支援体制を整備していく。

その他の質問

- ① 生理的貧困に対する支援の充実を
- ② 外国人市民が日本語を習得できる環境を
- ③ 大河ドラマを機に駅周辺のおもてなしを



SNS相談広報カード



井田 博康
自由民主党浜松

小・中学校のバリアフリー化促進を

質問 小・中学校の車椅子使用者用トイレ、エレベーターの設置などバリアフリー法改正にどう対応していく考えか。

答弁 国は、7年度までの5年間でバリアフリー法改正に対応した整備を学校設置者である自治体に求めているが、学校の改修は、学校施設長寿命化計画に基づき計画的に行っており、3年度は、次期計画策定に向けた全校調査と併せ、法改正対応への詳細な整備状況調査を実施している。今後は、関連する計

画との整合性を図りつつ、調査結果を基に、4年度中に改正バリアフリー法対応に向けた計画を取りまとめ、車椅子使用者用トイレや配慮の必要な児童・生徒が在籍する学校にエレベーターを設置するなど整備を進めていく。

その他の質問

- ① 障害のある人の自立に向けた支援充実を
- ② 公園施設に需要の高いドッグラン整備を
- ③ 奥浜名湖ヘマリンスポーツ誘致の考えは



これまでに整備された学校の車椅子使用者用トイレ



鈴木 唯記子
党派を超える会

多頭飼育崩壊に対応できる新たな仕組みを

質問 多頭飼育崩壊は

ごみ屋敷・福祉サポートとも関連性が高く、動物愛護教育センターだけでは解決が難しいことから、職員の増員を含め組織体制を強化する考えはないか。

答弁 多頭飼育や飼主の高齢化に伴い取り残される動物が社会問題として顕在化しており、センターの指導・啓発業務は増加し、内容も多様化してきている。現況の体制では質量ともに解決が難しい問題があるため、社会福祉部局、環境部局などの関連部署が情報を

共有し、連携した対応が必要となっている。今後は、部局の枠を超えたプロジェクトチームの設置や、業務量増加に対応するための必要な職員数の確保など、課題に迅速かつ的確に対応できる体制の確保に努めていく。

その他の質問

- ①ビーチコートを拠点とした人材育成を
- ②ベテランと新人教職員の安定的な確保を活用した周遊観光を
- ③路線バス・電車券を



あかでん散歩 コースMAP (抜粋)
(出典:遠鉄電車(赤電)公式ホームページ)



波多野 亘
自由民主党浜松

浜松基地周辺の住環境の向上を

質問 3年10月に第41

教育飛行隊が美保基地から浜松基地へ移動した。本市は移動に当たり、市民の意見を基に南関東防衛局へ要望を出したが、対応状況はどうか。

答弁 本市は移動に対応する一方、操縦者への安全教育の徹底、航空機整備による安全管理に万全を期すこと、騒音対策への最大限の配慮、交付金の増額など、今まで以上の措置を要請し、その対応として、離着陸回数を当初の予定よりも低減する努力が示された。

しかし、告示後住宅の防音工事など要請への対応はいまだ十分ではないと考えていることから、今後も全国基地協議会などと連携し、進捗を確認するとともに、確実に実施されるよう、引き続き働きかけていく。

その他の質問

- ①自治会の負担軽減で担い手不足の解消を
- ②パトロールの強化で違反ごみの抑止を
- ③商店街街路灯の撤去に補助制度の適用を



商店会の会員減で負担となる商店街の街路灯



露木 里江子
自由民主党浜松

※4
マイクロツーリズムで観光産業の活性化を

質問 コロナ禍の長期

化で観光関連産業が打撃を受ける中、本市では近隣地域を巡る旅行商品の利用を支援するマイクロツーリズム推進支援事業を実施したが、その成果と今後の誘客はどうか。

答弁 2年度から実施したマイクロツーリズム推進支援事業は、延べ1万6627人に利用され、新たな観光商品の開発や地域の魅力の再発見につながったと評価している。

りの地を巡ることができるよう、市内の歴史資源を活用した商品開発を進め、利用促進に努めていくとともに、ドラマ放送時には、観光客向けの着地型旅行商品として販売することで、市内の観光周遊につなげていく。

その他の質問

- ①スタートアップ誘致で地域産業活性化を
- ②創立120周年の市立高校が目指す学校像は
- ③農業の理解を深め多様性を広げる施策を



農業を通じた食育による交流の様子



鈴木 幹夫
自由民主党浜松

コミュニティ・スクールの今後の展望は

質問 コミュニティ・スクールの成果と課題、今後の展望はどうか。

また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を併せて推進するため、地域学校協働本部を設置する考えはあるか。

答弁 コミュニティ・スクール設置校では、教育活動や学校支援の充実に一定の成果があったが、教職員の理解や関与の不足、地域住民の認知不足などの課題があった。今後コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を地域とともに推進し、

将来の浜松を担う子供たちを育てていく。

また、地域学校協働本部については、その機能を有する既存の組織で対応しているが、市民部と教育委員会とで情報共有を図り、設置を含めその在り方について検討していく。

その他の質問

- ① キャリア教育推進に向けた今後の展望は
- ② 地球温暖化防止に貢献する企業の称賛を
- ③ 歴史と文化のまちにふさわしい美術館に



コミュニティ・スクールのパンフレット



松本 康夫
自由民主党浜松

自治会活動のデジタル化推進に向けた考えは

質問 自治会活動におけるICT導入の取組の一つであるデジタル

回覧板には期待するところだが、持続的な仕組みづくりに向けてさらなる支援の考えはどうか。

答弁 和合町自治会のデジタル回覧板の事例は、本市でいち早く実践した取組であり、既に地域の半分以上の世帯が活用していることや、自治会活動の新たなツールとして汎用性が高いことは魅力である。自治会のデジタル化の推進には、こうした事例を他の自治会に

広く周知することが有効であるため、自治会等DXサポート事業の中で紹介していきたい。また、地域のデジタル技能を有する人と自治会とをマッチングする仕組みを構築し、人材の確保を支援していく。

その他の質問

- ① 所有者不明墓地の現状と今後の対策は
- ② 土石流災害派遣から消防の組織力向上を
- ③ 水道管路の耐震化の進捗と今後の考えは



常光浄水場の水管橋



花井 和夫
自由民主党浜松

森鷗外が作詞した旧浜松市歌の顕彰を

質問 制定から100年を迎えた森鷗外作詞、本居長世作曲の旧浜松市歌がそのまま埋もれてしまうことを惜しむ声があるが、今後どう顕彰していく考えか。

答弁 旧浜松市歌は、1番で賀茂真淵の学問をたたえ、2番で徳川家康の功績をしのび、3番で市の繁栄を願うという構成を取り、格調高い文語調の韻律とともに、本市ゆかりの偉人の徳を学び、発展を続ける時代の息吹が読み取れる。また、森鷗外が市歌を手掛けたのは本市と横浜市のみ

という希少性もあり、作品そのものを本市の来歴を示す文化資源として評価している。本市には浜松地域遺産認定制度があることから、今後、旧市歌に関係する資料群も文化財として認定することを検討していく。

その他の質問

- ① 大型スポーツイベントの誘致目標は
- ② 市民参加で「歴史都市・浜松」の実現を
- ③ 避難所における災害関連死を防ぐ対策を



五社公園(中区利町)に建つ旧浜松市歌の歌碑



太田 利実保
創造浜松

製材・加工業にさらなる支援の充実を

質問 製材・加工業は減少の一途をたどっているが、森林を適切に管理していくために大きな社会的使命を持つことから、人材育成を含め、事業継続・承継を促進する考えはないか。

答弁 天竜地域が木材産地である理由は、天竜材の良さを熟知し、効果的・効率的に丸太を加工する製材・加工業の存在が大きいことは言うまでもない。

本市では国県補助事業を活用し、製材・加工施設の整備を進めており、3年11月には市



木材を集積・選別するための中間土場
(天竜区佐久間町)

内製材業者が木材の大径木化に対応する製材施設を整備した。また、天竜材人材育成・担い手確保事業を新設し、就業者の技術力向上に努めている。今後もハード・ソフト両面で支援を行い、事業継続・承継を促進していく。

その他の質問

- ※6 ①分散避難する市民への行政支援策は
- ②地域から介護人材を輩出する仕組みを
- ③茶業へのスマート農業技術の導入を

用語解説

※1 特定空家 (5ページ)

空家等対策の推進に関する特別措置法では、著しく保安上の危険、衛生上の有害または、景観損失など放置することが不適切である状態にあると認められる空家等と定義され、市は所有者等に対し、除却、修繕、立木竹の伐採その他周辺の生活環境の保全を図るために必要な措置をとるよう助言又は指導をすることができるとしている。

※2 保育所等巡回支援事業 (5ページ)

国の地域生活支援事業の一つで、発達障がいに関する知識を有する専門員が、保育所などの子供やその親が集まる施設などへの巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員や親に対し、障がいの早期発見、早期対応のための助言などの支援を行う。

※3 架線集材 (6ページ)

急峻な地形の森林から伐採した木を運び出すため、空中にワイヤーロープなどを張り、伐採木を集材装置を使って吊り上げながら林道端に集める方法。急斜面では作業道が整備できないため、この方法が有効な手段となる。

※4 マイクロツーリズム (7ページ)

新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに感染防止対策の観点で広がった、自宅から1時間から2時間圏内で観光する近距離旅行。地域の魅力再発見と地域経済の活性化への貢献が期待されている。

※5 着地型旅行商品 (7ページ)

旅行者を受け入れる(着地)側の地域で、その地域のおすすめ観光資源をもとに企画した体験プログラムや観光商品のこと。多様化する旅行者のニーズに対応することが可能になり、新しい観光素材の掘り起こしなど地域の活性化にもつながるため、工夫をこらして魅力的な商品を作ろうとする動きが活発化している。

※6 分散避難 (9ページ)

市が指定する避難所等のほか、親戚宅や友人宅、安全が確保されている自宅での在宅避難や自宅2階への垂直避難、車中泊など、多様な避難場所へ避難すること。



11月25日特別委員会

【提案内容】

天竜区を単独区のまま維持し、交通や農業など地域特性を考慮して北区の一部と浜北区を一つの区とする。そして、中区、東区、西区、南区と北区の一部を一つの区に再編する。

行政区の再編については、行財政改革・大都市制度調査特別委員会において協議を進めています。3年10月、11月、12月の協議では、最終案の一本化に向け、区割り案たたき台3案を比較検討する中、区の数や3区とすることなどを市に提案した上で、区割り案を内定しました。

行政区再編に関する協議の経過

令和3年
11/25
区の数
の決定

令和3年
11/12
3案の
比較検討

令和3年
10/28

令和3年
10/15

日付は委員会開催日

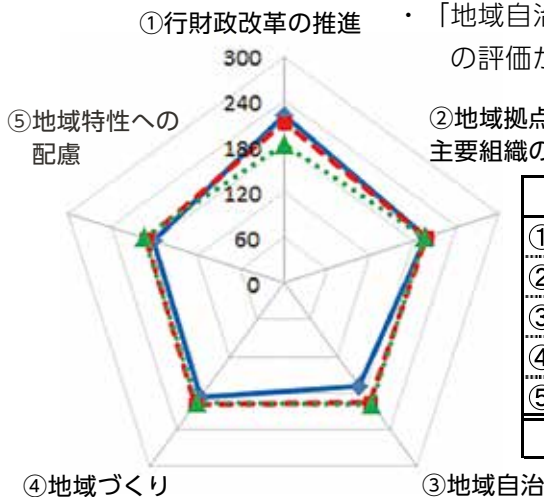
レーダーチャートを活用した検討

区の数決定に当たって比較検討（評価作業）を行うため、評価スキームを検証し、25の条件項目を5段階で評価したものを5つの比較項目に落とし込み、レーダーチャートを作成しました。この評価結果をもとに委員間で討議を行い、区割り案の内定に向けて協議を進めました。

～委員会での評価～

- ・「行財政改革の推進」では、2区案の評価が高く、「地域づくり」においては3区案の評価が高くなっている。
- ・「地域拠点と主要組織の方針」では、2区案から4区案まで大きな差は見られない。
- ・「地域自治」と「地域特性への配慮」では、3区案と4区案の評価が2区案に比べ高い。

—●— 2区案
-■- 3区案
...▲... 4区案



比較項目	2区案	3区案	4区案
① 行財政改革の推進	221	213	183.5
② 地域拠点と主要組織の方針	197	198	196
③ 地域自治	169	195	197
④ 地域づくり	188	199	195
⑤ 地域特性への配慮	182	192	194
計	957	997	965.5

内定した区割り案

3区による多様性を生かすことで、都市の活力や成長を源泉とした都市経営が展望できる。



【区の数をも3とした主な理由】

「行財政改革」、「住民に身近な行政区の強化」、「地域特性への配慮」に加え、評価結果などを総合的に判断したものです。

【区の線引きの主な理由】

「浜北区と北区（三方原地区以外）を1つの区」とする線引き案は、将来の本市にとってよりよい再編案となることが見込まれ、類似性や共通性などに着眼し、4つの視点（地勢、歴史と文化、農業、交通まちづくり）から検討した結果、地域課題への対応や地域資源を生かした施策の推進が期待できると判断したものです。

	区割り	人口	面積	特徴
A区	中区・東区・西区・南区・北区（三方原地区）	61万4500人	268.2km ²	浜松駅を核とする都市部が広がる沿岸を含む地域
B区	浜北区・北区（三方原地区以外）	15万8000人	345.8km ²	浜北駅を中心とする副都心を基軸とした産業と自然環境に恵まれた内陸地域
C区	天竜区	2万7000人	944.0km ²	豊かな自然と地域特性を活かし定住できる地域

令和4年
1/20～2/2

内定案の説明
●各区分自治会連合会
●各区分協議会

令和3年
12/14

パブコメ素案
の承認

令和3年
12/7

**区割り案
の内定**

パブリック・コメント

浜松市区再編(案) に対する
ご意見を募集しています！



募集期間：4年1月17日～2月15日
意見募集している内容は、市ホームページで閲覧、また、動画で説明を聞くことができます。また、担当課(区再編推進事業本部)・区役所(区振興課)・協働センター・ふれあいセンター・市政情報室・市民協働センター・中央図書館でも配布または閲覧できます。

※——部分の箇所には
意見を直接持参する
ことができます。



区割り案が内定したことから、再編後の行政サービス提供体制などをまとめたパブリック・コメント(素案)について協議を行い、承認しました。

意見を募集する対象

- ①区割り案
- ②再編後のサービス提供体制・住民自治の姿
 - ・地域拠点の名称、位置、業務内容等
 - ・主要組織（福祉）の基本的な方向性
 - ・主要組織（土木）の基本的な方向性
 - ・主要組織（防災）の基本的な方向性
 - ・デジタル化の基本的な方向性
 - ・協働センターのコミュニティ支援の充実
 - ・住民自治（協議会の体制）

はままつ 市議会だより

発行／浜松市議会 〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひ御覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



本作は、南インドのカルナータカ州ベルールにあるチェンナケーシャヴァ寺院の廻廊の様子を描いた作品です。この寺院はヒन्दウー教の重要な神格であるヴィシュヌ神を祀っており、華麗に装飾されています。画面左にある像は女の蛇神ナギニーで、その顔や体は不明瞭で暗く、存在感のみ強められています。その周りを蛇の神（精霊）であるナーガが取り囲み、明暗の対比が画面に効果を与えている作品です。

秋野不矩美術館は多くの方に応援していただき、平成10年の開館以来の来館者が100万人に到達しました。2月27日（日）まで、所蔵品展「ゼロ発祥の地インドⅣ ～動物と子どもたち～」を開催しています。秋野作品のうち、絵本原画「きんいろのしか」をはじめ「帰牛」や「村童」（寄託作品）など、動物が描かれた作品や子供をクローズアップした作品などを主に紹介します。

紙上美術館
No.176



再生紙を使用しています

市議会だよりは
パソコンやスマート
フォンからでも御覧
いただけます



紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

- 〔2月〕
- 7日 各常任委員会
 - 10日 議会運営委員会
 - 18日 本会議（2月定例会開会・3年度関係議案上程）
 - 21日 各常任委員会
 - 25日 議会運営委員会
 - 28日 本会議（3年度関係議案採決・4年度関係議案上程・施政方針）
- 〔3月〕
- 8日 議会運営委員会
 - 9日 本会議（代表質問）
 - 10日 本会議（一般質問）
 - 11日 本会議（一般質問）
 - 14日 各常任委員会
 - 15日 各常任委員会
 - 23日 議会運営委員会
 - 24日 本会議（4年度関係議案採決・2月定例会閉会）

今後の議会活動の予定